



沼巡り、紅葉シーズンへの端境期へ。

6月後半から登山道を賑わせていたヒグマ達の目撃もほとんどなくなり一気に静かになった感がある高原温泉沼巡り登山コース。

ただこの静けさは一過性のもの。

この高原温泉沼巡り登山コースは、これからシーズン中最も忙しい紅葉シーズンへと向かっていくその端境期。ヒグマが減り紅葉シーズンへ向けての登山道整備も本格化。

そして9月4日からは高原温泉へ続く林道での補修も始まりました。

今年は8月初めの豪雨の影響もあり、林道の砂利道はすでになんか凹凸…。紅葉シーズンはマイカー規制が入り、その林道を臨時のバスが走るようになる為、紅葉時期が近づくにつれ削れてしまった林道に上川町による補修作業が入ります。

そうした補修作業やバスなどについてのインフォメーションボードの設置等、紅葉シーズンへ向けての準備が始まった高原温泉です。

ただ、今年は雪の少なさや異常な夏の暑さなどによる植物への影響も懸念されているところ…。

今年の紅葉はどうなんだろうね…と長らくこの地の紅葉を見て来た人達は口を揃えて心配をしています。

果たして今年の高原温泉沼巡り登山コースの紅葉はどうなるのか…

紅葉情報もまた後続の沼巡りニュースで発信していきます。



紅葉シーズンへ向けて、ボコボコの林道の整備が始まりました(9月4日)。



ヒグマ情報センターにも紅葉時期に向けてのインフォメーションボード設置(9月5日)



小さな秋が所々に... 今年の紅葉はどうでしょう。

くまニュースVol.9 秋のヒグマ達は何処へ行く？

秋の紅葉シーズンが近づく高原温泉ではすっかりとヒグマ達の姿が見られなくなったことでも季節の移ろいを感じます。

春先の融雪期から暫くは、雪渓の中に出来るパッチ状のポイントで芽吹いたばかりの新葉を食べていたヒグマ達。雪がどんどん溶けて芽吹きが進み、やがてそうした植物の繊維が固くなり栄養価が低くなると言われる8月後半から草地を離れていきます。そしてこれからの時期はコケモモなどの液果類やハイマツなど高山帯の植物なども採餌し、越冬時期前にはミズナラなどの堅果類を採餌する為に森林帯へと移行すると言われています。

高根ヶ原で見られていたヒグマ達もそうして移動していつているのでしょうか…

長年沼巡り登山コースや大雪山の山々を見て来た熟練スタッフによると今年はこの時期に見られるはずのハイマツをはじめとする木の実がとても少なく非常に気になるそうです。確かに、山に入ってもハイマツの結実した実がそれほど多い感じがしません。

ヒグマ達の糞を見ると食べたものがそのまま糞に交じって消化されないまま出てくることも多くあるようで「燃費が悪そう…」と感じることが多いのです。その為か、沼巡りコースをはじめヒグマ達を見るときは移動と採餌をひたすら繰り返している、そんなイメージ。雑食ではあるとは言え、植物が主要な餌となるヒグマ達にとって、餌植物が少ないということはやはり活動に大きく影響が出ないか心配なところです。

また、餌が少ない時には早めに越冬に入るといわれることでもされており、今年が本当に餌植物の少ない年だとすると、越冬に入る準備を始めるクマ達ももうすぐ出てくるのかもしれないね(早い個体では9月には越冬の準備に入る個体もいるそうです)。

秋の紅葉シーズン間近の沼巡り登山コース。沼巡りコースで見られなくなったヒグマ達がこれからの時期どこへ行くのかは全然わかっていません。でもきっと私たちの心配をよそに、ヒグマ達は変わらず自分たちのペースでその時期の恵みを糧にしながら北の大地の長い長い冬へ備えていくことでしょう。



ハイマツの実を食べる親子グマ(左)。コケモモの実(中)。成長途中のハイマツの実(右)。今年は全般に山の実成りが良くない…？

高原温泉沼めぐり 登山コースの様子



ナナカマド

小さな秋がチラリホラリ



大学沼

式部沼 高原沼



高原沼

高原沼と緑岳（松浦岳）。緑岳のタスキが色づき始めるといよいよ紅葉シーズン到来ですが、もう少しかな…？
雪が少なかった事、夏の高湿など気象条件が影響するのでしょうか…？



エゾシカもちラリホラリ

エゾシカ



エゾサンショウウオが大きくなってイモムシ捕食



エゾオヤマノリンドウ

雪壁温泉（せつぺきおんせん）周辺ではまだエゾオヤマノリンドウやヨツバヒヨドリがまだ見られます。



緑沼

時折、晩夏の暑さのぶり返しが。そんな時は沢水でクールダウン。

ところどころ、秋の色づきが見られるように。紅葉シーズンも間近でしょうか？



高原温泉
ヒグマ情報センター



巡視員の行水



大雪山国立公園高原温泉
沼巡り登山コース
第8号 (9月8日)
発行：ヒグマ情報センター